

個別施策

D4-1 自然環境の保全を図ります

D4-2 自然とふれあう場と機会を創出します

ア 施策の目的

市民・事業者・行政等、すべての主体が、自然と共生する社会の実現へ向け取り組んでいる。

イ 成果指標（「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標）

| 指標名                            | 基準値<br>(時期)       | 区分    | H28    | H29    | H30    | R1    | R2    |
|--------------------------------|-------------------|-------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 森林整備面積<br>(植林、枝打ち、間伐等)<br>[累計] | 2,093ha<br>(26年度) | ↑ 目標値 | 2,493  | 2,693  | 2,893  | 3,093 | 3,293 |
|                                |                   | 実績値   | 2,505  | 2,773  | 3,022  |       |       |
|                                |                   | 達成率   | 100.5% | 103.0% | 104.5% |       |       |
| ホテル飛翔定点確認箇所数                   | 80箇所<br>(26年度)    | ↓ 目標値 | 82     | 81     | 81     | 81    | 81    |
|                                |                   | 実績値   | 80     | 78     | 78     |       |       |
|                                |                   | 達成率   | 97.6%  | 96.3%  | 96.3%  |       |       |

ウ 審議会における施策推進に向けた提案

- 自然体験型のイベントの充実について、市が関わる場所だけではなく、NPOや任意団体でも自然体験型の事業を実施しているので、そこを含めて市の取組みと考えることはできないか。
- 様々な団体の取組みに参加してくれる市民も多くいるのだから、市全体の関心という視点で見ると、問題点や要因も変わってくるのではないか。

エ 次期総合計画の策定に向けた意見

- 自然と共生することが施策の目的だが、事業内容は自然を大事にしようという施策に見える。共生ならば、自然を活用することによって、大事にしようと思えることも大事なので、経済性のある活用という施策を検討していくことが必要になると思う。
- 公共建築物の木材利用促進としているにもかかわらず、関係課に建築課が入っていないので、連携を図りながら進めていただきたい。